

文教常任委員会記録

1. 開催日時

平成 31 年 3 月 14 日 (木) 午前 10 時 1 分開議～午後 0 時 1 分休憩
午後 0 時 59 分再開～午後 1 時 48 分散会

3. 出席委員

委員長 安東 房吉	副委員長 松本 充浩	
委員 小野 仁志	委員 安部 剛祐	委員 永松 弘基
委員 馬見塚 剛	委員 スカルリーパー・エイジ	
委員 大石 祥一	委員 今山 裕之	

4. 説明員

三浦教育長

(教育部)

増田教育部長、佐藤教育部教育監、河野教育部次長、
佐藤教育部次長兼学校教育課長、池田教育部次長兼学校施設課長、
清水教育総務課長、西川体育保健課長、大石人権・同和教育課長、
永田社会教育課長、沖田文化財課長、坪根文化財課政策監、
御手洗大分市教育センター所長、菅大分市美術館長、長田美術振興課長、
岡本教育総務課参事、梶取教育総務課参事、野田学校教育課参事、
小野学校教育課参事、板倉学校教育課参事、富川学校教育課参事、
江隈学校教育課参事兼児童生徒支援室室長、新納学校施設課参事、
笠置体育保健課参事、板井体育保健課参事、清水体育保健課参事、
藤内体育保健課参事兼大分市学校給食整備共同調理場場長、
河野人権・同和教育課参事、山本社会教育課参事、河野社会教育課参事、
庄社会教育課参事、秦社会教育課参事兼大分市立エスペランサ・コレジオ校長、
栗田文化財課参事、武富文化財課参事兼大分市歴史資料館館長、
植木大分市歴史資料館参事、佐藤大分市教育センター参事兼副所長、
安部大分市教育センター参事兼教育相談・特別支援教育推進室長
田中学校教育課参事補、坂本学校教育課英語教育推進室長、
工藤学校施設課参事補、清水学校施設課参事補、大坪社会教育課参事補、
後藤大分市民図書館長、首藤文化財課参事補、後藤美術振興課参事補、
中原美術振興課参事補、黒木教育総務課参事補、谷矢教育総務課主査

5. 事務局出席者 書記 松尾 和貴

○安東委員長

それでは、審査に入っていきます。まずは、継続審査中の陳情についてであります。まず、継続審査中の平成 29 年陳情第 17 号、大分市への科学館設置に関する陳情、それから平成 30 年陳情第 7 号、大分市に総合的な科学館設立を求める陳情についてです。これらの陳情につきましては、関連がありますので、質疑までを一括して行い、討論、採決については 1 件ずつ行ってまいります。

それでは、執行部のほうで補足説明等があればお願いいたします。

○永田社会教育課長

お手元にお配りしております大分市への科学館設置に関する陳情に対する補足説明資料、カラー刷りの 2 枚ものになります。ごらんください。

まず、全国の科学館の設置の状況についてでございます。2 ページ目の資料 1 をごらんください。昨年 3 月

に、都道府県、政令市、中核市が設置をしております科学館について照会した結果を一覧表としてまとめております。一覧表中の登録や類似の表示につきましては、資料右側の（１）科学館の定義についてで御説明をいたします。

科学館そのものを定めた法律はなく、博物館法の中で自然科学に関する資料を扱う機関として規定されており、中段にございますように登録要件ごとに分類をされます。ページ左には各自治体ごとの登録要件による設置状況を記載しております。

表中の大分市の欄には、私どもが所管をいたします関崎海星館が、博物館類似施設に該当いたしますので、類似施設の表示をしております。こちらの一覧表の集計結果を右側青枠内の（３）回答集計結果にまとめておりますので、ごらんください。

①登録博物館としての科学館が 14 館、②博物館相当施設としての科学館が 3 館であり、③博物館類似施設としての科学館が 34 館と最も多く、全体の約 7 割を占めておりました。

登録博物館の特徴としましては、学芸員の配置や以前は建設費の補助金が受けられたというものがございます。一方で、博物館類似施設は、博物館法で義務づけられております学芸員の配置がなされていないことや、建設費の補助金制度がございません。また、それらの理由に加えまして、科学だけでなく特色のある分野も取り入れた柔軟な運営を可能とするため、あえて法の縛りを受けない類似施設を選択しているというふうな特徴もございます。

また、最近建設をされました科学館といたしまして、平成 30 年 7 月にオープンした高知みらい科学館は、図書館、点字図書館、科学館の複合施設であり、総事業費約 146 億円を高知県と高知市が連携し、それぞれが 2 分の 1 の負担をし、つくられております。

資料 1 枚目の 1 ページ目に戻っていただきまして、本市の科学関連施設としまして、先ほど御説明をいたしました関崎海星館の御説明をいたします。

海洋及び天文に関する生涯学習施設として、平成 7 年 4 月に開設し、延べ床面積 682 平米で、60 センチ口径の反射望遠鏡を備えており、年間約 2 万 5,000 人の方々に御利用をいただいております。関崎海星館は、先ほどの御説明の制度的分類では博物館類似施設となり、幅広い科学分野を扱う総合的な科学館ではなく、天文分野に特化した科学館となっております。

次に、2、大分市のこれまでの取り組みについてですが、毎年、全 13 地区公民館で子供を対象とした科学教室等の講座を実施しております。また、関崎海星館、コンパルホール、のつはる少年自然の家にそれぞれ天体望遠鏡があり、定期的に科学に関するイベントを実施しており、資料にございますように、関崎海星館とのつはる少年自然の家での主な事業を記載しております。

次に、3、大分県・大学・企業等の取り組みについてですが、大分県では、2010 年度から大分市中央町で気軽に科学体験ができる O-L a b o を実施しており、昨年度は 111 日間開催され、参加者は合計約 5,800 名というふうに聞いております。

また、市内の大学及び工業高等専門学校では、一般市民を対象に科学に関する公開講座を毎年実施しております。市内の企業も記載しておりますような取り組みを毎年実施しております。

最後に、下段にございます科学教育充実に向けた新たな取り組みをごらんください。

1 つ目として、関崎海星館の機能強化に向けた取り組みでございます。関崎海星館は、平成 29 年度の議会議事事業評価において拡充の評価をいただいております。建物は建築後 23 年が経過し、中規模改修が必要な状況であり、外壁等の改修に合わせ、施設の機能強化に向けた取り組みを検討しております。今年度は公募型プロポーザルで選定をいたしました事業者に、実現可能な機能の比較検討や導入効果等の調査を依頼しており、今後、調査結果をもとに具体的な機能強化策を検討してまいります。

2 つ目としまして、仮称おおいた子どもかがく広場の開設についてでございます。現在は、さまざまな団体がみずから場所を借りて実施しております科学教育の取り組みを支援するため、旧中島小学校の理科室を仮称おおいた子どもかがく広場として整備し、登録団体へ無償で貸し出すという取り組みでございます。新年度 4

月の使用開始に向けて準備を進めているところでございます。

○安東委員長

執行部の説明は終わりましたが、委員のほうから質疑はありませんか。

○安部委員

関崎海星館が類似施設になるわけですね。

○永田社会教育課長

そういう位置づけでございます。

○安部委員

ほかの都市は立派なものがたくさんあるように思うんですが、大分市はそういう考えはあるんですか。

○永田社会教育課長

現在、大分市では既存の施設を活用すると同時に、先ほど御説明しましたように、いわゆるソフト面での充実を図っておりますので、建設について具体的な考えを持っているというわけではございません。

○安東委員長

そのほかないですか。

○エイジ委員

今おっしゃったとおり、関崎海星館の利活用について一般質問しましたが、やっぱりここもったいないと思います。新しいものもいいと思うんですけど、ここを、宇宙的な部分だけではなくて、もう少し幅を広げて整備をしていくことによって、科学館に近いもの、そういった活用もできるんじゃないかなと思います。そのためには、駐車場が狭かったり、大型バスがUターンしにくいとか、そういった問題があると。道路に関しては県によって整備していただいている。そういった面で連携も当然必要ですし、やはりハード整備を行って、ここをいかに、充実した場所、環境にしていくかというところをもっと考えられたほうがいい。大きな新しい箱物というよりも既存のものを十分活用することが必要だと思います。

○安東委員長

そのほかないですか。

○小野委員

たぶんこの陳情の中身としては、関崎海星館のことを言っているんじゃないと思うので、つくったほうがいいとか、つくったほうがよくないとかという話ではないと思います。高知市が県と一緒に立派なのをつくったという話があるみたいですが、実は大分県の中でそのような話や計画が少しずつ進行しているとか、情報があれば教えていただきたいです。

○永田社会教育課長

これまでも、大分県の担当部署であります大分県教育委員会に確認をしておりますが、今のところ具体的にはないです。今はあくまでソフト事業の充実ということになっています。

○小野委員

わかりました。ありがとうございます。

○安東委員長

そのほかないですか。

〔「なし」の声〕

○安東委員長

ソフト面で頑張っていると思うんですけど、この陳情している人たちは、このグループとは関係ないのか、それともこのグループと密接に関係あるのか。

○永田社会教育課長

例えば、県のほうのO-L a b oの講座を開くときに講師をしていただいているとお伺いしております。

○安東委員長

この陳情者等がですか。

○永田社会教育課長

一部の方です。

○安東委員長

わかりました。

では、皆さんからの質問はいいですか。

〔「なし」の声〕

○安東委員長

それでは、これより1件ずつ討論に入りたいと思います。

まず、平成29年陳情17号、大分市への科学館設置に関する陳情について討論はありませんか。

○小野委員

まだ新しい委員会になったばかりで、調査研究したいところがあるので、継続審査としていただければと思います。

○安東委員長

そのほかありませんか。

〔「なし」の声〕

○安東委員長

継続審査という声がありましたが、継続審査でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声〕

○安東委員長

平成29年陳情第17号の大分市への科学館設置に関する陳情については、継続審査としたいと思います。

それでは次に、平成30年陳情第7号、大分市に総合的な科学館設立を求める陳情について、討論はありませんか。

○馬見塚委員

先ほどの小野委員のお話ですけど、まだ調査研究したい部分もありますので、継続審査でお願いしたいと思います。

○安東委員長

ほかにありませんか。

〔「なし」の声〕

○安東委員長

継続審査という意見が出ましたが、継続審査でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声〕

○安東委員長

それでは、平成30年陳情第7号についても継続審査ということにしたいと思います。